

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 **新**戦国・武将観光推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 活用推進係 電話番号：058-272-1111 (内 3248)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 32,520 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	32,520	0	0	0	0	0	0	0	32,520
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

令和2年を「観光ビッグイヤー」として位置付け、大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機とした明智光秀ゆかりの地への誘客促進や、広域観光の核となる関ヶ原古戦場の魅力づくりを踏まえた「岐阜関ヶ原古戦場記念館」の整備、「岐阜の宝もの」である「東美濃の山城」の磨き上げを進めてきた。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、新しい生活様式として特に個人型観光への志向が見込まれる中、戦国時代の黎明期から終焉までを一気通貫に楽しめる強みを生かし、本県ならではの「戦国・武将観光」を全国に発信するとともに、観光をはじめとする産業及び地域の活性化を図る。

(2) 事業内容

明智光秀ゆかりの地や関ヶ原古戦場、東美濃の山城などの既存資源に加え、県内各地に数多く点在する戦国・武将関連の観光資源を活用した観光誘客の取組みを展開する。

- ・本県ならではの戦国・武将観光の魅力発信
- ・岐阜の山城の県内全域での磨き上げ
- ・大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機に磨き上げたゆかりの地への誘客促進

(3) 県負担・補助率の考え方

県内への誘客促進は県の事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

科目	金額	事業内容
委託料	29,032	(1) 本県ならではの戦国・武将観光の魅力発信 (2) 岐阜の山城の県内全域での磨き上げ (3) 大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機に磨き上げたゆかりの地への誘客促進
印刷製本費	2,486	パンフレット等の制作
旅費	722	業務旅費
役務費	180	郵送代等
消耗品費	100	消耗品購入費
合計	32,520	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 後年度の財政負担

新型コロナウイルスの影響による緊急支援事業のため、単年度事業である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

岐阜県の戦国・武将観光の魅力を効果的・継続的に発信し、観光入込客、宿泊客を増やし、観光産業の振興ならびに地域の活性化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
観光消費の経済波及効果	億円 (H-)	4,601億円 (H28)	4,175億円 (H29)	4,172億円 (H30)	5,000億円 (R2)	83.4%
観光入込客数（実数）	万人 (H-)	4,696万人 (H28)	4,556万人 (H29)	4,603万人 (H30)	4,600万人 (R2)	100.1%
外国人延べ宿泊者数	万人 (H-)	101万人 (H28)	98万人 (H29)	102万人 (H30)	150万人 (R2)	68.0%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機に受入環境整備を進めてきた「明智光秀ゆかりの地」の情報発信を行うとともに、戦国・武将観光をPRするためのリーフレットやポスター等の作成を行い、情報発信を行った。

（前年度の成果）

- ・「本能寺×岐阜県タイアップイベント ～光秀と信長 天下布武の道～」
（9月12・13日京都府本能寺境内開催）
- ・パンフレット、ノベルティ等、情報発信用媒体の作成及びブース等での配架
ブース出展：12月お城EXPO（横浜）1月ツーリズムEXPO（東京）等
- ・広告出稿
NHK大河ドラマ・ガイド麒麟がくる後編（NHK出版）等に出稿

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	新型コロナウイルス感染症により団体での観光などこれまでどおりの様式が見込めない中、新たな観光需要の掘り起こしに資する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	戦国時代の黎明期から終焉までを一気通貫に楽しめる岐阜県ならではの強みを生かし、特に with コロナの新しい生活様式として増加が見込まれる個人型の観光需要の掘り起こしに資する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	事業効果を上げるため、関連資源を有する市町村の行政や観光協会等と連携して事業を推進する。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の拡大により、新しい生活様式として特に個人型観光への志向が見込まれる中、戦国時代の黎明期から終焉までを一気通貫に楽しめる本県ならではの強みを生かし、「戦国・武将観光岐阜」の魅力を全国に発信するとともに、観光をはじめとする産業及び地域の活性化を図る。

(次年度の方向性)

--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	